

平成 27 年版

将棋年鑑

豪華巻頭特集！

1. 羽生善治1300勝の軌跡
2. 糸谷哲郎竜王ロシグインタビュー
3. 田中寅彦・先崎学が振り返るこの1年
4. 森下卓が竜王戦を語る
5. 上野裕和の最新将棋事情

2015

将棋界の1年が
この1冊に

永久保存版

日本将棋連盟

完全収録

- ・タイトル戦
- ・竜王戦決勝トーナメント+1組
- ・A級順位戦
- ・王将リーグ

巻頭特集

特集①羽生善治1300勝の軌跡	28
特集②糸谷哲郎竜王ロングインタビュー	32
特集③田中寅彦・先崎学が振り返るこの1年	38
特集④森下卓が電王戦を語る	46
特集⑤上野裕和の最新将棋事情	60
個人成績	77
〈棋戦別棋譜索引〉	82
〈戦型別棋譜索引〉	84

プロ棋戦

竜王戦(第27期)	86
竜王戦ランキング戦(1組〜6組)	100
名人戦(第73期)	152
A級順位戦	158
順位戦B級1組	187
順位戦B級2組	200
順位戦C級1組	213
順位戦C級2組	227

王位戦(第55期)	246
王座戦(第62期)	264
棋王戦(第40期)	278
王将戦(第64期)	292
棋聖戦(第85期)	314
朝日杯将棋オープン戦(第8回)	330
銀河戦(第22期)	340
NHK杯テレビ将棋トーナメント(第64回)	350
将棋日本シリーズJTP公式戦/テーブルマークこども大会(第35回)	362
新人王戦(第45期)	370
加古川清流戦(第4期)	382
富士通杯達人戦(第22回)	410
マイナビ女子オープン(第8期)	414
リコー杯女流王座戦(第4期)	426
ユニバーサル杯女流名人戦(第41期)	438
女流王位戦(第26期)	450
霧島酒造杯女流王将戦(第36期)	460
大山名人杯倉敷藤花戦(第22期)	468
白瀧あゆみ杯争奪新人登竜門戦(第8回)	476

アマ棋戦等

アマチュア竜王戦(第27回).....	478
全日本アマチュア将棋名人戦(第68回).....	482
全国高等学校将棋竜王戦(第27回).....	486
全国支部将棋名人戦(第44回).....	488
全国支部将棋対抗戦(第44回).....	489
全国シニア将棋名人戦(第22回).....	490
全国アマチュア王将位大会(第31期).....	491
朝日アマチュア将棋名人戦(第38回).....	492
しんぶん赤旗全国囲碁・将棋大会(第51回).....	493
全国高等学校将棋選手権大会(第50回).....	494
全国中学生選抜将棋選手権大会(第35回).....	495
中学生将棋名人戦(第39回).....	496
文部科学大臣杯小・中学校将棋団体戦(第10回).....	497
小学館・集英社杯小学生将棋名人戦(第40回).....	498
大山名人杯争奪全国小学生倉敷王将戦(第13回).....	499
大学将棋(平成26年度).....	500
内閣総理大臣杯職域団体対抗将棋大会(第106・107回).....	504
全国オール学生将棋選手権戦(第29回).....	508
SRJ・栄光ゼミナール杯女流アマ名人戦(第46期).....	509
主要アマ棋戦.....	510
アマ棋譜解説.....	514

名簿・棋士名鑑・コラム等

全棋士成績.....	78
竜王戦・順位戦データ集.....	144
順位戦昇級者一覧.....	244
昇級・昇段者一覧.....	368
将棋大賞受賞者.....	390
日本将棋連盟の機構.....	392
日本将棋連盟支部名簿.....	534
将棋普及指導員連絡先一覧.....	540
大山康晴賞(第21回).....	548
実戦終局の一手.....	
相手玉には即詰みがあります。投了に追い込んだ次の一手を 考えてみてください(詰み筋は一つとは限りません)。176・185・189・195・224・258・262・272・276・282・286・306・310	
将棋書籍ナビ.....	
戦型別勝率.....	359・369・387・432・443・465
プロ棋士なんでもランキング.....	561・596
棋士名鑑アンケートクイズ.....	609・615・617
表紙／羽生善治名人 表紙写真／中野伴水 グラビア写真／大川慎太郎・金子光徳・中野伴水 写真提供／野間俊克(順位戦B級2組)・池田将之(順位戦B級2組、C級 1組)・内田晶(達人戦、アマ竜王戦、高校竜王戦)・君島俊介(倉敷藤花戦)・ 小島一宏(高校選手権、小学生倉敷王将戦)・中島一(中学生選抜選手権) 表紙・口絵レイアウト／山崎絵美 段位・肩書は当時のものです。	
名誉会員(終身).....	550
棋士名鑑.....	551
日本女子プロ将棋協会.....	617
物故棋士一覧.....	618
棋士系統図.....	626
奨励会.....	628
棋戦優勝者一覧表.....	631
対局日誌.....	653
広告索引.....	664



巻頭特集①

羽生善治

1300勝の軌跡

史上初の七冠達成、通算タイトル獲得91期、同一タイトル獲得22期など、数々の大記録を打ち立てながらいまだ衰えを知らない羽生善治名人にまた新たな勲章が加わった。

平成26年11月20日、通算1300勝達成——。驚くべきスピードで打ち立てられたこの大記録を機に、これまでの軌跡を振り返ってみたい。

1300勝達成者の通算成績

No	達成者	勝	負	持	対局数	勝率	達成時の年齢	プロ入り～達成
1	大山 康晴	1433	781	2	2216	0.647	62歳 8 カ月	45年 7 カ月
2	中原 誠	1308	782	3	2093	0.626	60歳 0 カ月	41年11カ月
3	加藤一二三	1317	1131	1	2449	0.538	71歳10カ月	57年 3 カ月
4	羽生 善治	1300	499	2	1801	0.723	44歳 1 カ月	28年11カ月

羽生善治年度別成績

※タイトル数は年度末のもの

年	年齢	勝数	負数	勝率	タイトル数
S60	15	8	2	0.800	
61	16	40	14	0.741	
62	17	50	11	0.820	
63	18	64	16	0.800	
H元	19	53	17	0.757	1
2	20	31	18	0.633	1
3	21	51	16	0.761	1
4	22	61	17	0.782	3
5	23	44	19	0.698	5
6	24	52	18	0.743	7
7	25	46	9	0.836	7
8	26	26	17	0.605	5
9	27	43	17	0.717	4
10	28	41	18	0.695	4
11	29	31	11	0.738	4
12	30	68	21	0.764	5
13	31	46	21	0.687	4
14	32	50	24	0.676	3
15	33	33	19	0.635	2
16	34	60	18	0.769	4
17	35	40	22	0.645	3
18	36	34	17	0.667	3
19	37	44	18	0.710	2
20	38	44	21	0.677	4
21	39	30	18	0.625	3
22	40	43	14	0.754	3
23	41	44	19	0.698	2
24	42	51	17	0.750	3
25	43	42	20	0.677	3
26	44	39	15	0.722	4

史上最速の大偉業

まず、上の表を見てほしい。これまで将棋の歴史の中で通算1300勝を達成したのは4人しかいない。

大山、中原、加藤一、そして羽生だ。ちなみに通算勝数5位は谷川浩司九段で羽生の1300勝達成時は1243勝となっている。

表を見れば分かる通りだが、羽生はこれまで達成した3人の誰よりも負数が少なく、対局数が少なく、勝率が高く、達成時の年齢が若く、プロ入りから達成までにかかった期間

が短い。

他の3人が達成したのはかなり高齢になってからだだが、羽生はまだ44歳、しかも四冠を保持している第一人者だ。羽生の当面の目標は1400勝だが、その先にある大山の1433勝を抜いて通算勝数でも歴代1位になることはほぼ間違いないと言っている。

次に左の表。こちらは羽生の年度別成績を示している。

羽生は1300勝達成までに約29年を要したわけだが、これは1年に換算すると約45勝ということになる。

限られた棋戦の中で年間45勝を達成するためには、挑戦者決定リーグや番勝負に絡む必要があり、その中で勝ち続けなければならない。

今年度、全プロ棋士の中で最も勝率が高かったのは菅井竜也六段だが、その菅井でさえ5年間で168勝、1年平均では34勝にとどまっている。ちなみに渡辺明棋王は15年間で50勝、1年平均は33勝となっている。

平成27年現在、われわれは羽生善治の打ち立てるであろう大記録の途上にいる。次ページ以降で1300勝までの軌跡を振り返っておきたい。

糸谷哲郎竜王 ロングインタビュー

今年の将棋界の最も大きなニュースといえば、糸谷哲郎新竜王の誕生だろう。
「怪物」のニックネームの通り、大学院哲学専攻、ノータイム指し、対振り右玉、反則負けなど
デビュー当時から規格外の話題を提供し続けてきた全く新しいタイプの棋士、糸谷哲郎。
棋界最高位を手にした彼は今、何を思う？ 本音に迫るロングインタビュー。



将棋の魅力は勝負の結果が ちゃんと出るところ

——まず、糸谷先生と将棋の出会いから教えてください。

「小学校に入る前、5歳の頃に覚ええました。父親にルールを教わったのですが、父はそれほど強くなって、すぐに相手にならなくなりました。それで道場に行き始めた、という具合です」

——お父様の次が道場なんですね。何か将棋



にのめり込むきっかけのようなものはあったのですか？

「いや、特にありません。当時は将棋くらいしかゲームがありませんでしたし、勝負事が好きだったので、初めから将棋が面白いと思っていました。すんなり将棋の道に進んだように記憶しています」

——道場に通うようになればあとはすいすいと？

「そうですね、あとは転げるように。あ、これは逆ですか（笑）」

——なるほど。将棋のどこに魅力を感じますか？

「勝負の結果がちゃんと出るところです。しかもその結果が全て自分の責任であり、自分の成果である。そういうところが非常に好きですね」

——好きな将棋の格言は何ですか？

「二歩千金です」

——好きな将棋の手筋は何ですか？

「玉の早逃げですかね」

**一手損角換わりに関しては
最も詳しい人間でありたい**

——糸谷先生といえば、ネット将棋で強くなったということが知られていますが、多いと

きでどれくらい対局されたのですか？

「1日20～30局ですね。持ち時間1分、秒読み30秒の設定で」

——1日20～30局とはすごいですね。対局の他に詰将棋はどれくらい解かれたのですか？

「『詰むや詰まざるや』をやっていて、詰将棋をたくさん解くということはしなかったです」

——そうなんです、短手数の問題はあまりされなかった？

「そうですね。難しい問題を時間をかけて解いていました。それ以外はひたすら実戦ですね。棋譜並べや定跡書での勉強もほとんどしなかったです」

阪急阪神第一ホテルグループの
フラッグシップホテル



第一ホテル東京

◆東京駅、品川駅、羽田空港からも交通至便。
◆銀座へ徒歩5～10分。

TEL.03-3501-4411(代表)

東京都港区新橋1-2-6
<http://www.daiichihotel-tokyo.com/>
JR・地下鉄「新橋駅」より地下歩道直結、徒歩約2分

田中寅彦・先崎学が 振り返るこの1年

羽生の棋聖防衛で始まり、糸谷竜王の誕生、郷田の王将初戴冠、
最後は羽生の名人防衛で幕を閉じた今年のタイトル戦。
長く将棋界を見詰めてきた田中寅彦九段、
先崎学九段の二人にこの1年を振り返っていただいた。



羽生世代は
集団で走っている

第85期棋聖戦（6月2日～7月5日）
羽生善治棋聖 ○○○○3 防衛
森内俊之竜王 ●●●●0

——棋聖戦はこの前に行われていた名人戦と同じカード、羽生―森内戦になりました。

田中「この二人は星が片寄る印象がありますね。名人戦の前までは森内さんに分があるようでしたが、名人戦を潮目にして一気に羽生さんに流れが傾いた感じです。森内さんは棋聖は取ったことがないので、勝ちたかったでしょうが、名人戦からの連敗で調子を落としてしまったように見えました。しかし羽生さんと森内さんというのは同年代で長いことライバル関係を続けてますよね」

先崎「ライバルというか、もはや空気のような存在かもしれません」

田中「私自身が弱かったこともありですが、私の世代では同年代でタイトルを争うようなライバル関係はなかったですね」

先崎「羽生さんも森内さんもさすがにつらくなってきたんでしょうけど、周りも頑張っているから頑張れるというか、集団で走っ



今年のタイトル戦は羽生—森内のライバル対決で幕を開けた

ているような感覚があるんでしょね。みんなで走っていれば疲れを忘れる、じゃないけど(笑)」
田中「先崎さんもその集団の一人じゃないですか」

先崎「私なんかもうくたびれちゃって駄目ですよ」

田中「それでも今期順位戦で昇級するんだから、すごいですよ」

——その話は後ほど伺わせていただきます。
森内先生の強さは「体力に裏打ちされたぶれない強さ」と先崎先生はおっしゃっていましたね。

先崎「はい。ただ、さすがに40代半ばになれば衰えてくるのはやむを得ないですから。森内さんはかなり体力のある40代半ばだと思いますけど、今回の3連敗という結果はそういうことが関係しているのかもしれませんが」

——田中先生から見ると森内将棋はいかがでしょうか？

田中「非常に手厚い将棋で、一番相手にしたくないタイプです。それに加えて対局相手のことをよく研究しているし、森内さんの隙が私には見えなかったですね。ひどい目にたくさん遭わされています。一度だけ助けってもらったことがあったかな、A級で(笑)。これは羽生さんにも言えることなんです、私の最も得意とする形にしてくれるんです。この弱い私からも何かを吸収しようという姿勢がすごいなと思いましたね。だから今でもトップの座を維持できているんでしょ」



森内は初の棋聖奪取ならず

あの持将棋の一局がキーだった

第55期王位戦(7月8日～9月25日)

羽生善治王位 ●●持○○●●4 防衛

木村一基八段 ○●持●●●●2

——続いては王位戦です。第7局までもつれましたが羽生先生の防衛となりました。

田中「私は木村さんの将棋が、昔ながらの積み重ねていくような将棋でとても好きなんです、このシリーズは残念でしたね」

先崎「これは木村さんが勝つべきシリーズだったと思います。第1局で勝って、第2局も勝ちそう、第3局も優勢な将棋でした。ただ、あれを持将棋にされて流れが変わってしまったような気がします。あのとき羽生さん

巻頭特集④

森下卓が 電王戦を語る

株式会社ドワンゴが主催する
人間VSコンピュータの戦い・電王戦。
人間の意地か、コンピュータの進化か。
4回目となった今回も大きな注目が集まった。
誰も予想できなかった展開、
そして驚愕のラスト。
5局の死闘を前回の対局者である
森下卓九段が語った。



電王戦のプレッシャー

「電王戦ファイナル」と銘打たれた本大会。電王戦の出場経験者としてこのラストマッチを観た数少ない人間の一人として、まずは私自身のコンピュータ将棋の経験について語っておきたい。

私にとってコンピュータ将棋といえば自分で購入してパソコンにインストールしていた市販の将棋ソフトだった。恐らくアマチュアの六段くらいの棋力だと思うが、これがビールを1、2杯飲んでストレス解消するのにちょうどいい棋力だった。

その認識が一変したのが第1回電王戦が行われた年。米長会長（当時）に「一緒にコンピュータ対策をやってくれ」と言われて出掛けていった。2012年の正月のことだ。

そこで貸し出されたソフトと初めて対戦したのだが、あまりの強さに驚いた。完敗だった。

他の棋士が対局した棋譜も見たが、とにかく強い。特に定跡形からねじり合いの展開になると、手が付けられないほどの強さを発揮していた。

「こんなに強いのとやって、申し訳ないんですが勝ち目があるとは思え

ないんですけど」と正直に米長会長にお話しした。

2手目△6二玉の対策を研究して臨んだ米長会長だったが惜しくも敗れ、5対5の団体戦となった第2回電王戦でもコンピュータの強さを見せつけられる結果になった。

コンピュータ将棋の強さは身染みて分かっており、第1回、第2回の電王戦も見てきた私がなぜ第3回電王戦に立候補したか？ それはたまには解説する側ではなく解説される側に回りたい、ということもあったが、一番の理由は強いコンピュータと戦うことで、自分自身も鍛えられるのではないかと思ったからだ。

勝ち負けにはあまりこだわってなかったのですが、初めは全くプレッシャーを感じなかった。しかし、対局が近づくにつれて周りの空気が異様な盛り上がりを見せた。しかもプロ側の1勝2敗という状況で対局を迎えることになった。ここで私が負ければ今回もプロ棋士の負けだ。

勝たなきゃいけない――。

しかし、相手のツツカナは強かった。矢倉でも対振り飛車でも勝率が非常に悪い。角交換振り飛車が勝ちやすいという情報を得て試してみた



が、決してそんなことはなかった。
豊島—YSS戦が終わって私が対局するまでの1週間は本当にきつかった。「負けたらどうしよう」とここまで真剣に思ったのはC級2組順位戦の5期目のとき以来だ。
お酒とコーヒーを3年間断つのでどうか勝たせてくださいと将棋の神様に祈った。それほど覚悟で臨んだ一局だったが、ツツカナには勝てなかった。
ツツカナの方が私より強かった。

まともに戦ってはプロ側の全敗だと思った

私がコンピュータとの対局を重ねて思ったのは、コンピュータ相手に序、中盤で悪くなることは少ないというところ。終盤の入り口を迎えたところでは8割方優勢、あるいは「指せる」局面になっている。それでも勝てないのだ。終盤力に関してはコンピュータの方がかなり上をいっていることを認めざるを得ない。

私とツツカナの対局本番も客観的に見て私の方がやや指しやすい局面になった。しかし手が萎縮したこともあり、結局「いつものように」ひっくり返されてしまった。

【第1図は▲4四金まで】



【第2図は△9九香成まで】



ポイントの局面を挙げるとすればツツカナが▲4四金(第1図)と打ってきた場面。ここで私は△8五桂と跳ね、▲8八銀に△7五歩と読んでいたが▲8六銀とされ予定がガラツと狂ってしまった。

直前に8六から7七に引いたところだったので、もう一度▲8六銀と上がる手が完全に思考のエアポケットに入っていた。

また、数手後△9九香成(第2図)とした手では当然△9八香成としなければいけなかった。9九では響きが薄すぎて論外だった。

▲6七玉、▲9八飛とされる手が頭にチラつき、これまでツツカナに痛目目に遭わされてきた苦い経験も

後押しして、9八で香を止めることができなかった。完全に私の心の弱さが出た一着だった。

第1回の米長先生もそうだったが、私も含め、プロ対コンピュータの対局を観ていると、「いい将棋を逆転されてしまった」展開が多いことに気付く。

人間としては「序中盤の有利を保ったままいかに勝ち切れるか」が大きなポイントなのだが、それが非常に困難であることがコンピュータと戦つての偽らざる結論だった。

今回の電王戦ファイナル、正直に言わせていただければ、誰が出てきても、まともに戦つてはプロ側の全敗だと思っていた。

私が戦ってからさらにコンピュータの棋力は上がっているはずで、そもそも序、中盤で良くできるのかさえ分からない。良くできなければ勝てる可能性は皆無だ。

プロ側に勝機があるとしたら、コンピュータの穴を探し当てられたと

きだが、果たしてどうなるか……。平成27年3月14日、人類VSコンピュータの最終決戦、電王戦ファイナルが始まった。

上野裕和の最新将棋事情

～平成26年度を振り返る～

日進月歩で研究が進むプロの将棋。

中継を見ているにもかかわらず理解できない、ということはよくあるのではないのでしょうか。

そこで去年に引き続き、プロの最新形を上野裕和五段が分かりやすく解説。

なぜこの形になるのか、どうしてこの手が指されるのか、
など日々疑問に思っていることも、これを読めば大丈夫です!

居飛車編

居飛車編、概要

今年度は矢倉と角換わり、そして横歩取りにおいて、特に大きな進化が見られた。なお、居飛車編は戦法を五つに分け、以下の順に解説する。

- ① 矢倉
- ② 角換わり
- ③ 相掛かり
- ④ 一手損角換わり
- ⑤ 横歩取り

また、それぞれの項目の中で、その戦型の基本的な概要と傾向を確認の後、最新研究の紹介に入りたい。

【第1図は▲6五歩まで】



【第2図は△4五歩まで】



矢倉

①概要と傾向

相居飛車の中でも、がっちりと玉を囲う王道の戦法である。

矢倉と言え「▲3七銀戦法」が花形。第1図(▲)のように組み、先手の攻め、後手の受けという構図で長らく指されていた。

ところが今年度に入り「そもそも先手は▲4六銀・3七桂型にすんなり組めるのか」という大きなテーマが現れたのである。

【第3図は▲4六歩まで】



② 4五歩反発（従来）

第2図(↘)がそのテーマ図。

▲4六銀に対してすぐ△4五歩と突き、▲3七銀と引かせることで先手の攻撃陣構築を阻止するのである。ただし、この△4五歩が攻めの目標になることもあり、長らく後手自信なしとみられていた。具体的には第2図以下 ▲3七銀△5三銀に1、すぐ▲4六歩と突き返す

2、▲4八飛△4四銀右に▲4六歩と突き返す（第3図←）

のどちらも△4五歩がマイナスになる、というのがプロの共通認識であった。後手は位の確保ができないのである。

【第4図は△9五歩まで】



▲先手 歩

では、△4五歩反発が復活した理由は何か。その答えの一つが第4図（←日本シリーズ決勝▲羽生善治名人△渡辺明二冠戦・P363）にある。後手は前述のように△4四銀右と盛り上がるのではなく、早めに△9四歩と突いて9筋の端攻めを見せ、攻め合いの姿勢で戦うのである。こうした、位の確保を重視しない新しい指し方や、その他幾つかの新発見も加えて△4五歩反発は復活した。

（なお、この将棋以降、先手は後手の9筋突き越しを許さず、▲9六歩と受けるようになった）

③△4五歩反発（△9四歩）

【第5図は△4四銀左まで】



▲先手 なし

後手側の斬新な工夫をもう一つ挙げるなら第5図（←）のように△4四銀左と出る手である（王将戦第3局▲渡辺△郷田真隆九段・P295）。3三の銀を中央に進出するのは珍しい。これは現在1→2筋から攻められる可能性が低く、5三の銀を残した方が勝るという考え方である。この△4五歩反発の成否は矢倉のみならず、後手が2手目に△8四歩と突きやすくなるのか、先手が矢倉ではなく角換わりを志向するのか、などの話につながっており、居飛車全体において重要なテーマである。今後の研究が楽しみだ。

④△4五歩反発（その他）

【第6図は△7五歩まで】



▲先手 なし

通常よりも一手早く矢倉に囲い、作戦勝ちを目指す藤井流早囲い。こちらをもともと有力な先手番の戦法として認識されており、△4五歩反発の復活により▲3七銀戦法が減少したことと相まって今年度、特に研究が進んだ。

藤井流早囲いは第6図（←）のように玉を6八→7八のルートで囲う。そのため▲6八玉と上がる瞬間が悪型となり、そのタイミングを捉えて後手が△7五歩と突く対策がよく指されている。この瞬間なら▲4六角の反撃がなく、後手は安全に一步交換が可能である。

⑤藤井流早囲い

【第7図は▲2六銀まで】



▲先手 歩

第6図以降、先手は歩交換を甘受し、代償として素早く棒銀を繰り出す将棋（第7図←）が数局指されている。

A級順位戦▲森内俊之九段△深浦康市九段戦（P168）では、第7図以下△4六角▲同歩△4三金右▲6八金上と進む。先手は▲7六歩と穏やかな手は指さず、棒銀をさばくことを優先して戦うことになる。

なお、藤井流早囲いは先手が早めに飛車先の歩を突くため、後手が阿久津流5筋急戦などの急戦を選択したときに一手早く攻撃できるメリットもあり、「後手急戦封じ」の側面も持ち合わせている。

データで見る最新将棋事情

26年度の先手勝率は0・534

女流の先手勝率が上昇

ここでは今年度の将棋をデータから分析してみたい。まず左の表を見てほしい。過去5年間の年度別の先手勝率を表したものだ。先手勝率はここ5年間5割3分前後で推移しており、今回もその中に収まった。

過去5年の平均手数も記載したが、こちらは110手から112手の範囲で驚くほど動いていない。

年度別データ

年度	対局数	先手勝率	平均手数
22年度	2703	0.536	110.8
23年度	2807	0.533	110.9
24年度	2893	0.524	111.5
25年度	2740	0.526	110.3
26年度	2920	0.534	112

先手勝率詳細

棋戦区分	先手勝率
男性棋戦	0.527
女流棋戦	0.576
タイトル戦	0.556
順位戦	0.507

さて、次にその下の先手勝率詳細を見ていただきたい。
まず、女流棋戦の先手勝率が非常に高いことが分かる。ただ、ここ数年の女流棋戦はむしろ後手の勝率が高く来年以降の結果を見ないことにはなんとも言えないところではある。タイトル戦においては先手勝率が平均より高くなっている。対局時間が長く、あらかじめ先後が決まっている順位戦は意外にも先手勝率が低いかなり早い段階で先後が決定するたため、むしろ後手の作戦が練りやすい、ということなのかもしれない。

初手は▲2六歩が最強？

次に今年、初手にどんな手が指されたかを見てみよう。

最も多く指されたのは▲7六歩（第1図）。▲2六歩（第2図）、▲5六歩（第3図）と続く。

勝率は▲2六歩が0・554と平均値よりかなり高かった。過去3年間で、初手▲2六歩は0・548、0・543、0・565と常に高い勝率を挙げている。初手の最強手は▲2六歩なのかもしれない。

初手の割合と先手勝率

初手	採用率	先手勝率
▲7六歩	71.6%	0.531
▲2六歩	22.4%	0.554
▲5六歩	5.6%	0.497
それ以外	0.4%	0.417

【第3図は▲5六歩まで】

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

採用率：5.6%
先手勝率：0.497

【第2図は▲2六歩まで】

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

採用率：22.4%
先手勝率：0.554

【第1図は▲7六歩まで】

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

採用率：71.6%
先手勝率：0.531

【居飛車の戦型別勝率】

矢倉と角換わりは大差

次に戦型別の先後勝率を調べていこう。まずは居飛車から。

▲7六歩△8四歩▲6八銀（第4図）は王道ともいえる矢倉の出だしで、居飛車の中では最も多いスタートなのだが、この形での先手勝率は0・485。昨年在0・558だったのが、ぐくと落ちた。上野裕和

五段の講座にある通り、△4五歩反発型をはじめ、今年は矢倉の後手番に画期的な進化が見られたというところだ。

これに大差をつけたのが▲7六歩△8四歩▲2六歩（第5図）の出だ

し。角換わりを志向する手順で、このスタートだと先手勝率は0・627に跳ね上がる。昨年在0・582と高かったのだが、さらにそれを上

回った。対局数も昨年の182局から244局とかなり増えた。これだけ勝てれば3手目▲6八銀よりも▲2六歩と突きたくなるのもうなずける。

次は一手損角換わりの出だし。まず、▲7六歩△3四歩▲2六歩△3二金▲2五歩△8八角成（第6図）

とする形は22局指されたが、先手勝率0・591と先手が勝っている。

4手目の△3二金のところで△8八角成（第7図）とする形の方がよく指されており、後手番としては第6図の出だしよりも健闘しているが、

それでも先手勝率0・568。一手損角換わりは後手が苦戦していると

言って良さそう。初手から▲2六歩△8四歩▲2五歩（第8図）とする相掛かりは先手

勝率0・520、先手が▲3四飛

（第9図）とした横歩取りの局面での先手勝率は0・540となった。

居飛車は矢倉以外はおおむね先手がよく勝っていると言っていいたいだろう。

【第4図は▲6八銀まで】

9	8	7	6	5	4	3	2	1
星	羽	瀬	零	王	零	瀬	羽	星
飛	飛							
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩							歩
歩	角							飛
香	桂							桂

対局数：342
先手勝率：0.485

【第5図は▲2六歩まで】

9	8	7	6	5	4	3	2	1
星	羽	瀬	零	王	零	瀬	羽	星
飛	飛							
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩							歩
歩	角							飛
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香

対局数：244
先手勝率：0.627

【第7図は△8八角成まで】

9	8	7	6	5	4	3	2	1
星	羽	瀬	零	王	零	瀬	羽	星
飛	飛							
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩							歩
歩	留							飛
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香

対局数：146
先手勝率：0.568

【第6図は△8八角成まで】

9	8	7	6	5	4	3	2	1
星	羽	瀬	零	王	零	瀬	羽	星
飛	飛							
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩							歩
歩	留							飛
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香

対局数：22
先手勝率：0.591

【第9図は▲3四飛まで】

9	8	7	6	5	4	3	2	1
星	羽	瀬	零	王	零	瀬	羽	星
飛	飛							
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩							歩
角	金							飛
香	桂	銀		玉	金	銀	桂	香

対局数：337
先手勝率：0.540

【第8図は▲2五歩まで】

9	8	7	6	5	4	3	2	1
星	羽	瀬	零	王	零	瀬	羽	星
飛	飛							
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩							歩
角	金							飛
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香

対局数：98
先手勝率：0.520

株式会社マイナビ

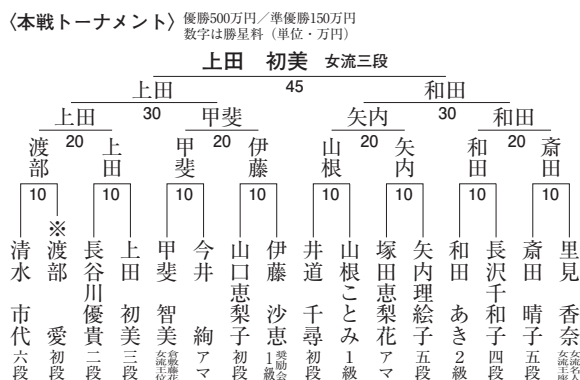
五番勝負

加藤桃子女王

上田初美女流三段 ●●○● 1

加藤が上田を振り切り初防衛

第8期は6月22日のチャレンジマッチで開幕。プロ16人とアマ44人が11枠を争い、中井、山田久らプロ8



加藤は女王初防衛を果たした

人と、アマ3人が勝ち抜いた。鎌村
アマはプロ5人に4勝を挙げた。

本戦出場12枠を争う一斉予選公開対局は、8月9日に各種イベントを併設して開催された。総来場者数は450人。元女王の甲斐、矢内、上田は順当に予選を通過したが、女流王将の香川は初戦で敗退。和田は奨励会の西山を破る殊勲の星で本戦入りを決めた。塚田アマは2期連続、今井アマは初の本戦出場。

本戦トーナメント開幕前に、前女王の里見が休場延長で不戦敗になる



和田は挑決まで勝ち進み一気に初段に

残念なニュースがあった。一方で若手の活躍が明るい話題を提供した。本戦初出場の渡部が1回戦で清水を破り、同じく初出場の和田は長沢、斎田のベテランを連破し、さらに準決勝では矢内を倒して挑戦者決定戦に進出した。3月9日の挑決は、女王2期の上田が実力を示して和田を降し、女王への挑戦権を獲得した。

加藤と上田の五番勝負は4月7日に神奈川県・鶴巻温泉「元湯陣屋」で開幕。上田が意表の横歩取りでいったんは優位に立ったが、攻守が逆転すると加藤が一気に押し切った。4月18日の第2局は、加藤の出身地である静岡県牧之原市の「高尾山石雲院」で。上田の中飛車から激戦となり、加藤が秀逸な寄せの構想を

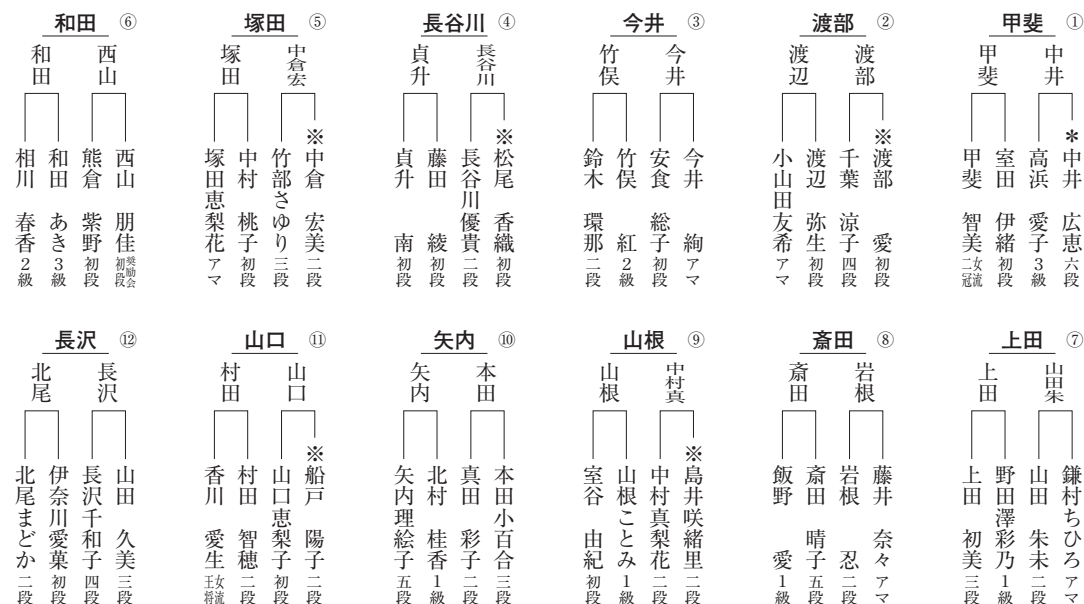


一斉予選は8月9日に行われ、写真の12人が本戦進出を決めた

見せて連勝。5月7日の第3局は東京の「将棋会館」で。上田が四間飛車からの速攻で加藤の居飛車穴熊を攻略し、1勝を返した。

5月19日の第4局も「将棋会館」で。上田の向かい飛車から激しい攻め合いになり、加藤が難解な終盤戦で見事な収束を見せた。3勝1敗で初防衛を果たした加藤は「3連覇を目指す」と、力強く抱負を語った。上田は随所に持ち味を発揮したが及ばなかった。(週刊将棋 雨宮知典)

マイナビ女子オープン(第8期)



〈チャレンジマッチ〉スイス式トーナメント5回戦を行い、成績上位の11名（太字）が通過

	氏 名	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	5回戦	勝敗
1	本田小百合	○ 31	○ 19	○ 14	○ 17	● 10	4 - 1
2	高群佐知子	○ 32	● 20	○ 13	○ 16	● 9	3 - 2
3	山田 久美	● 33	○ 41	○ 36	○ 22	○ 16	4 - 1
4	久津 知子	○ 34	○ 21	● 16	○ 23	● 17	3 - 2
5	石高 澄恵	○ 35	○ 25	● 17	○ 26	● 18	3 - 2
6	植村 真理	● 36	○ 42	● 38	● 21	○ 32	2 - 3
7	島井咲緒里※	○ 37	○ 27	● 18	○ 25	○ 19	4 - 1
8	大庭 美樹※	● 38	○ 43	● 40	○ 48	○ 47	3 - 2
9	渡部 愛※	○ 39	○ 28	○ 20	○ 18	○ 2	5 - 0
10	中井 広恵*	○ 40	○ 30	○ 33	○ 53	○ 1	5 - 0
11	中倉 宏美※	○ 41	● 33	○ 46	○ 27	○ 20	4 - 1
12	松尾 香織※	○ 42	○ 36	● 53	○ 30	○ 21	4 - 1
13	船戸 陽子※	○ 43	○ 38	● 2	○ 32	○ 53	4 - 1
14	中倉 彰子※	○ 44	○ 52	● 1	● 33	○ 38	3 - 2
15	鹿野 圭生※	○ 45	● 53	○ 48	○ 38	● 33	3 - 2
16	蛸島 彰子※	○ 46	○ 54	○ 4	● 2	● 3	3 - 2
17	藤井 奈々	○ 47	○ 56	○ 5	● 1	○ 4	4 - 1
18	今井 絢	○ 48	○ 59	○ 7	● 9	○ 5	4 - 1
19	中澤 沙耶	○ 49	● 1	○ 51	○ 40	● 7	3 - 2
20	和田 はな	○ 50	○ 2	● 9	○ 57	● 11	3 - 2
21	畑中さゆり	○ 51	● 4	○ 52	○ 6	● 12	3 - 2
22	高柳 理沙	● 52	○ 44	○ 49	● 3	● 40	2 - 3
23	佐藤 陽香	● 53	○ 45	○ 54	● 4	● 51	2 - 3
24	原田 知実	● 54	● 46	● 32	□ 42	○ 45	2 - 3
25	森 美怜	○ 55	5	○ 56	● 7	○ 52	3 - 2
26	永井さくら	● 56	○ 47	○ 55	5	○ 54	3 - 2
27	堀 彩乃	○ 57	● 7	○ 58	● 11	○ 56	3 - 2
28	山口絵美菜	○ 58	● 9	● 57	○ 49	● 59	2 - 3
29	俵 玲来	● 59	● 48	□ 42	● 51	● 46	1 - 4
30	橋本智佳子	○ 60	● 10	○ 59	● 12	○ 57	3 - 2

	氏 名	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	5回戦	勝敗
31	山田 美晴	● 1	● 49	○ 43	● 52	○ 48	2 - 3
32	浅野 法子	● 2	○ 50	○ 24	● 13	● 6	2 - 3
33	鎌村ちひろ	○ 3	○ 11	● 10	○ 14	○ 15	4 - 1
34	諏訪 景子	● 4	● 51	○ 44	● 54	● 49	1 - 4
35	八木 直子	● 5	● 55	● 45	● 43	● 41	0 - 5
36	頼本 奈菜	○ 6	● 12	● 3	○ 55	○ 58	3 - 2
37	山下 実咲	● 7	● 57	● 47	● 44	□ 42	1 - 4
38	小高佐季子	○ 8	● 13	○ 6	● 15	● 14	2 - 3
39	野原 未蘭	● 9	● 58	○ 50	● 56	● 55	1 - 4
40	里見 咲紀	● 10	○ 60	○ 8	● 19	○ 22	3 - 2
41	岩崎 奏子	● 11	● 3	● 60	● 50	○ 35	1 - 4
42	多々納 光	● 12	● 6	■ 29	■ 24	■ 37	0 - 5
43	磯谷 真帆	● 13	● 8	● 31	○ 35	○ 50	2 - 3
44	目黒 彩夏	● 14	● 22	● 34	○ 37	○ 60	2 - 3
45	阪本 葉	● 15	● 23	○ 35	● 58	● 24	1 - 4
46	田中 沙紀	● 16	○ 24	● 11	● 59	○ 29	2 - 3
47	内免 梓	● 17	● 26	○ 37	○ 60	● 8	2 - 3
48	齋藤 理子	● 18	○ 29	● 15	● 8	● 31	1 - 4
49	須山 菜々	● 19	○ 31	● 22	● 28	○ 34	2 - 3
50	加藤まどか	● 20	● 32	● 39	○ 41	● 43	1 - 4
51	小野ゆかり	● 21	○ 34	● 19	○ 29	○ 23	3 - 2
52	宮澤 紗希	○ 22	● 14	● 21	○ 31	● 25	2 - 3
53	田村真理子	○ 23	○ 15	○ 12	● 10	● 13	3 - 2
54	土居和歌南	○ 24	● 16	● 23	○ 34	● 26	2 - 3
55	渡邊 早紀	● 25	○ 35	● 26	● 36	○ 39	2 - 3
56	小澤 望	○ 26	● 17	● 25	○ 39	● 27	2 - 3
57	小田切葉月	● 27	○ 37	○ 28	● 20	● 30	2 - 3
58	大城 千花	● 28	○ 39	● 27	○ 45	● 36	2 - 3
59	藤谷 薫子	○ 29	● 18	● 30	○ 46	○ 28	3 - 2
60	鈴木 里沙	● 30	● 40	○ 41	● 47	● 44	1 - 4

※印はLPSA所属 *印はフリー棋士

第8期 マイナビ女子オープン 第1局

持ち時間 勝▲女王 加藤 桃子
各3時間 ▲三段 上田 初美

平成27年4月7日 終了16時32分
神奈川県鶴巻温泉「陣屋」

横歩取り△8四飛

▲7六歩 ▲3四歩 ▲2六歩
▲8四歩 ▲2五歩 ▲8五歩
▲7八金 ▲3二金 ▲2四歩
▲同歩 ▲同飛 ▲8六歩
▲同歩 ▲同飛 ▲A3四飛
▲3三角 ▲2二銀 ▲8四飛
▲2六飛 ▲2二銀 ▲8七歩
C▲5二玉 (第1図) ▲5八玉
C▲5一金 ▲3八金 ▲6二銀
▲4八銀 ▲7四歩 ▲1六歩
▲7三桂 ▲1五歩 D▲2三銀
▲2四歩 ▲E3四銀 F▲2八飛
▲2五歩 ▲3三角成 ▲同桂
▲8八銀 G▲3五角 (第2図)

▲7七銀 ▲2四角 ▲6六銀
▲5四歩 ▲H2六歩 ▲同歩
▲同飛 ▲2五歩 ▲1六飛
▲1四歩 ▲同歩 ▲I1五歩
▲1八飛 J▲1四香 ▲2八飛
▲1六歩 ▲1二角 ▲2三銀
▲2一角成 K▲5五歩 ▲2六歩
L▲7五歩 ▲2五歩 ▲3五角
M▲2四歩 ▲同角 ▲2六飛
▲2五歩 ▲3六飛 ▲5四飛
▲1五歩 ▲同香 ▲1六香
▲同歩 ▲同飛 ▲1五歩
▲3六飛 ▲同桂 ▲2六歩
▲同歩 ▲2五歩 ▲2六歩
▲7五歩 ▲8八歩 O▲7七桂
(第3図) P▲8九歩成 ▲6五桂
▲8七金 ▲8六歩 ▲7七歩
▲8四歩 ▲7八歩成☆ ▲8五歩
▲5四香 ▲4六桂 ▲6四飛
▲3三玉 Q▲1一馬 ▲3四桂
(第4図)

△2二香 ▲同桂成 ▲3五歩
▲3二成桂 ▲同玉 ▲3五飛
まで10手で加藤女王の勝ち。
(消費時間▲2時間24分△3時間0分)
◇陣屋決戦は難解な中盤戦
A▲3四飛●神奈川県秦野市「元湯・陣屋」での第1局は、上田が居飛車を採用しての横歩取りで開幕した。
B▲5二玉(第1図)●最新形で現在もさまざまな工夫や新手が見られる。
C▲5一金●△2四飛と飛車交換をする狙いを重視した指し方も多いが、しつかりと開く△5一金を選択した。
D▲2三銀●実現性は低い▲1四歩△同歩▲1二歩△同香▲3三角成△同桂▲2一角の狙いを未然に防ぐ。ただし▲2四歩の味が出てくる。
E▲3四銀●△2四同銀は▲3三角成△同金と形を乱されていけない。
F▲2八飛●後手の銀に近いので当たりを避けておく。この形では珍しい。
G▲3五角(第2図)●▲4六歩を突かせずに、△2四角と歩を取り切る意味。
H▲2六歩●飛車を四段目で使う意味。▲3六歩も考えられる。
I▲1五歩●▲2六歩からの指し手を逆用した。飛車を押さえ込んで好調。
J▲1四香●△2六歩も有力。
K▲5五歩●玉頭を狙っていく。ただしこは△4二金上から△8一飛と馬を捕獲していけば後手が優勢に立てた。
L▲7五歩●大切な一手。飛車の横利きを通しておけば、攻防に役立つ。
M▲2四歩●窮屈な飛車を活用する。
N▲4二玉●▲5五銀△同飛▲5六香を防ぎつつ、金にヒモを付けた。
O▲7七桂(第3図)●▲7四歩△同飛▲7五香が良かった。
P▲8九歩成●敗着。△7六歩▲6五桂△8五桂で難解だった。
Q▲1一馬(第4図)●決め手。加藤が激戦を制して先勝。

【第1図は△5二玉まで】



二歩 田上△

【第2図は△3五角まで】



歩 田上△

【第3図は▲7七桂まで】



三歩香 田上△

【第4図は▲1一馬まで】



歩香 田上△

第8期 マイナビ女子オープン 第2局

持ち時間
各3時間
勝△女王 加藤 初美 桃子

平成27年4月18日 終了17時28分
静岡県牧之原市「高尾山・石雲院」

中飛車その他

▲7六歩 △8四歩 ▲5六歩
▲8五歩 ▲7七角 △5四歩
▲5八飛 △4二玉 ▲4八玉
▲6二銀 ▲3八玉 △3四歩
▲2二角成 △同銀 ▲8八銀
▲3二玉 ▲7七銀 △3三銀
▲5五歩 △同歩 ▲同飛
B ▲4二金 (第1図) ▲2八玉
▲6四歩 ▲5九飛 △6三銀
▲3八銀 △7四歩 ▲7八金
▲1四歩 ▲1六歩 C ▲4四銀
▲4六歩 △7三桂 ▲6六銀
▲8六歩 D ▲9五角 △8三飛
▲8六歩 △5二金上 ▲5七銀

E ▲2四歩 ▲6六歩
▲5六歩 ▲2五歩
▲同銀 F ▲4五歩 (第2図)
G ▲3三角 H ▲9八香
▲4六銀 I ▲5四歩
▲2六歩 ▲同歩
▲7五歩 ▲同銀
▲同角成 ▲同桂
J ▲5五歩 ▲8六歩
▲8九角 ▲7九歩 K ▲9八角成
▲5四歩 ▲同馬
▲同銀 ▲8五桂 L ▲2七歩
▲同玉 ▲8五桂 ▲同飛
M ▲5五銀 ▲同銀
▲5四角成 N ▲5三香
▲同金直 ▲3六香
▲3九金 ▲5九飛 ▲4八銀
O ▲4八銀 (第3図) ▲3九成桂
▲4九桂成 ▲5九銀☆
▲同玉 ▲5八銀 ▲2七玉
P ▲4九銀成 ▲3四香
▲3三歩

▲5七銀 ▲3九成銀 ▲3三香成
△同金☆ ▲6二飛 ▲5二香
▲3五角 ▲2三玉 ▲3六玉
▲6九角 ▲4七桂 ▲3四金
▲5三角成 △同香 ▲2五金
Q ▲3一飛 ▲3四金 △同飛
▲3五金 △同飛 ▲同玉
▲3四金 ▲4六玉 ▲4七角成
▲同玉 ▲3八角 (投了図)
まで128手で加藤女王の勝ち。
(消費時間▲3時間0分△3時間0分)
◇中央での攻防
A ▲5八飛▲加藤の出身地である静岡県牧之原市「石雲院」での対局は上田の中飛車となった。
B ▲4二金 (第1図) ▲5筋が薄くなるので△2二玉から△3二金は指しにくい。
C ▲4四銀▲中央を厚くしつつ、△5二金上るときに▲7一角を消している。
D ▲9五角▲8六同歩も考えられるが、角を手放す代わりに歩得を狙った。

E ▲2四歩▲お互いに動きが難しい局面なので、陣形を崩さずに有効な手を指したい。
F ▲4五歩 (第2図) ▲後手は▲5六歩に何か対処をしないといけない。
G ▲3三角▲予定変更。△6五歩は先手の角筋が通るので自信が持てなかった。
H ▲9八香▲角筋から避ける大切な一手。
I ▲5四歩▲銀の退路を作って均衡が取れていると判断した。
J ▲5五歩▲△8九角を防ぐ▲5九飛では消極的で良くない。
K ▲9八角成▲馬も守りに使えて後手良し。
L ▲2七歩▲このタイミングが良い。
M ▲5五銀▲取られる銀の活用で優勢。
N ▲5三香▲△3五桂が分かりやすい。
O ▲4八銀 (第3図) ▲疑問。▲6七金ならばまだまだ難解だった。
P ▲4九銀成▲地味だが厳しい。後手玉は自陣飛車を利用して寄らない。
Q ▲3一飛▲この飛車が使えては勝負あり。加藤の2連勝となった。

【第1図は△4二金まで】



【第2図は▲4五歩まで】



【第3図は▲4八銀まで】



【投了図は△3八角まで】



第8期 マイナビ女子オープン		挑戦者
持ち時間	初段 和田 初美	決定戦
各3時間	勝三段 上田 初美	
平成27年3月9日	終了16時48分	
東京都渋谷区「将棋会館」		

ゴキゲン中飛車対居飛車穴熊

▲7六歩	△3四歩	▲2六歩
▲5四歩	▲4八銀	▲5五歩
▲6八玉	△5二飛	▲5八金右
▲6二玉	▲7八玉	△7二玉
▲2五歩	△3三角	▲7七角
▲8二玉	▲8八玉	△4二銀
▲6六歩	△9二香	▲6七金
▲9一玉	▲9八香	△8二銀
▲9九玉	△7一金	▲7八金
▲5三銀	▲5九銀	△6二銀
▲3六歩	△5四飛	▲1六歩
▲7四歩	▲4六歩	△6四歩
▲8八銀	△7三銀左	▲6八銀
▲5二金	▲7九銀右	△6二金寄
▲5九角	△4四飛	▲3七角
▲1四歩	▲4八飛	△5四飛
▲4五歩	△7二金寄	▲4六角
△5一角	B ▲2四歩	△同歩
▲2八飛	△4四歩	▲3七桂
C ▲1三桂	▲2四角	△6五歩
D ▲5一角成	△同飛	▲2二飛成
▲5六歩	△同歩	▲6六歩
▲7七金寄E	▲4六角	F ▲5五角
▲5七角成G	▲6三歩	H ▲2一歩
▲7三角成	△同銀	▲3二竜
▲4六角	▲5二銀	△7五歩
▲5一銀不成	△7六歩	▲6六金

△同馬	I ▲6二歩成	△同銀
▲同銀成	△同金寄	▲5五銀
J ▲7九角成	△同金	▲8八馬
▲同金☆	▲7九銀	▲6四角
▲7三銀	△同角成	△同桂
▲6九飛	▲8八銀成	△同玉
K ▲7七銀	△同桂	△同歩成
▲同玉	▲6五桂打	
まで10手で上田三段の勝ち。		
(消費時間▲3時間0分△2時間52分)		
◇難解な終盤戦		
▲5二金▲挑戦者決定戦はゴキゲン中飛車から相穴熊へ。公式戦でも多く見られる戦型となった。		
B ▲2四歩▲3七桂は△6二角くらいで桂頭が弱く先手自信なし。		
C ▲1三桂▲4五歩は▲2四角△3三桂▲4二歩△同角▲4五桂でまずい。		
D ▲5一角成▲6五歩と手を戻しておくのも考えられた。どちらも有力。		
E ▲4六角▲何はともあれ△5六飛と出ておくべきだった。		
F ▲5五角▲好手。△同角▲同歩△4六角は▲5四角が悪い。		
G ▲6三歩▲先手にも楽しみの多い局面。		
H ▲2一歩▲5五飛▲同歩△5六角▲5二飛△6七歩成▲同金寄△同角成▲同金△同馬▲7二飛成で難解だった。		
I ▲6二歩成▲疑問。▲7四歩なら先手優勢だった。以下△7七金には▲同桂△同歩成▲同銀で後手の攻めは続かない。		
J ▲7九角成▲穴熊特有の攻めが厳しい。		
K ▲7七銀▲難解な終盤戦を制して上田が挑戦権を獲得した。和田は初挑戦ならず。		

第8期 マイナビ女子オープン		準決勝
持ち時間	勝三段 上田 初美	初美
各3時間	▲金銀表 甲斐 智美	
平成27年2月6日	終了17時3分	
東京都渋谷区「将棋会館」		

4→3戦法

▲7六歩	△3四歩	▲2六歩
▲4二飛	▲6八玉	▲6二玉
▲7八玉	△7二玉	▲4八銀
▲3五歩	▲2五歩	△3二飛
▲4六歩	△3四飛	▲2二角成
△同銀	▲8八銀	▲8二玉
▲4七銀	△7二銀	▲7七銀
▲3二金	▲6八金	△9四歩
▲9六歩	▲3三銀	▲1六歩
B ▲2四歩	C ▲5六角	△4四飛
▲1五歩	△5四歩	▲6六歩
▲2五歩	△同飛	▲2四飛
△同飛	△同銀	▲1四歩
▲5五歩	▲6七角	D ▲2六飛
▲3八銀	△2七歩	E ▲4一飛
▲4三銀	△2三歩	▲2八歩成
▲4七銀	△2九と	▲2一飛成
△4二金	F ▲1一竜	▲2八飛成
▲7五桂	▲7一桂	▲2二歩成
▲3九と	▲5八金上	▲4九と
▲2三と	▲4四銀	▲3二と
G ▲同金	▲4一竜	▲3三金
▲5四香	▲4八と	▲5一香成
▲5八と	△同銀	▲5一金
△同竜	▲6一金	▲4二竜
△5六歩	H ▲同歩	▲6四角
▲4一竜	△7四歩	▲5七銀

△7五歩	▲同歩	△1九竜
▲9五歩	△同歩	▲9三歩
△同香	▲9四歩	△同香
△同角	▲8四香	▲8六歩
△5五歩	▲6七角	△5六歩
▲同銀	△7六歩	△同角
▲9一香☆	▲9三歩	△同香
I ▲9四歩	△同香	△同角
▲4六角	▲4九香☆	△6四桂
▲4六香	△5六桂	▲6七角
△6八桂成	△同銀	△7三銀打
▲9四香		
まで15手で上田三段の勝ち。		
(消費時間▲3時間0分△3時間0分)		
◇甲斐、チャンス逃す		
A ▲6八金▲8八玉から▲7八金も有力。本譜は角の打ち込みに備えてバランス重視。		
B ▲2四歩▲後手は飛車の打ち込みに強いので、△2四歩から飛車交換を狙っていく。		
C ▲5六角▲飛車交換になったときに、1二の地点と2九の地点を見た攻防の角。		
D ▲2六飛▲攻め合い。形勢不明。		
E ▲4一飛▲1三歩成△2八歩成▲4七銀△1三桂▲2一飛も考えられるが、本譜の方が良さそう。		
F ▲1一竜▲2二歩成と、と金攻めを急いだ方が良かった。		
G ▲3二同金▲本譜でも難解だが、△5二金寄▲5四香△6二金寄▲4二と△4八とならば後手が良かった。		
H ▲5六同歩▲5六同角△5二香に▲5一金がびつたりで先手の勝ちだった。△同金▲同竜△6一金は▲8三桂成がある。		
I ▲9四歩▲ここからは先手勝ち。		

棋士名鑑

各棋士の氏名の上の数字は「棋士番号」を示す。棋士番号とは、昭和52年4月1日付査定に基づく四段昇段の順番で、故金易二郎名誉九段を1番として301番の梶浦宏孝四段までが平成27年版の名鑑に掲載されている。平成27年6月15日現在。

平成27年版アンケート

- ①身長・体重・血液型 ②座右の銘は？ ③この一年で読んだ本、観た映画でおススメは？ ④よく聞く音楽は？ ⑤子供の頃、苦手だった科目は？ ⑥最近の将棋界の話題で一番興味深いことは？ ⑦最近凝っているものは？ ⑧この一年で一番自分を褒めたいことは？ ⑨健康のために普段から心掛けていることは？ ⑩今年一年の目標は？ ⑪対局する上で心掛けていることは？ ⑫子どもの頃の得意戦法は？ ⑬この一年で詰将棋を何題解きましたか？ ⑭棋士を目指していませんでしたらどんな職業に就いていたいと思いますか？ ⑮愛用している、またはかつて愛用していた扇子は？ ⑯縁起を担ぎますか？それは何ですか？ ⑰一生お金に困らないとしたら何をしますか？ ⑱将棋に負けたあとの過ごし方は？ ⑲「思い出の対局」を教えてください ⑳HP、ブログのURL、ツイッターアカウント、携わっている将棋教室の情報など、告知されたい方はお教えください

【現役棋士】



175 名人 王座 羽生 善治
棋聖

永世名人
永世王位
名誉王座
永世棋王
永世王将
永世棋聖
藤田 辰雄 著

昭和45年9月27日、埼玉県所沢市の生まれ。57年、第7回小学生名人戦優勝。同年12月、6級で二上達也九段門。59年初段、60年12月四段、史上3人目の中学生棋士に。63年4月五段、平成元年10月六段、2年10月七段、5年4月八段、6年4月九段。

62年9月、第10回若獅子戦で棋戦初優勝。62年12月、第3回天王戦で全棋士参加棋戦初優勝。元年12月、第2期竜王戦で初挑戦でタイトル獲得。19歳3カ月でのタイトル獲得は当時史上最年少（現在は2位）。5年8月、第34期王位戦で史上最年少（22歳11カ月）の五冠。6年12月、第7期竜王戦で史上初の六冠。7年3月、第20期棋王戦で連続5期獲得により「永世棋王」の資格を得る。7年7月、第66期棋聖戦で通算5期獲得により「永世棋聖」の資格を得る。

8年2月、第45期王将戦で史上初の七冠制覇。8年9月、第44期王座戦で連続5期獲得により「名誉王座」の資格を得る。9年8月、第38期王位戦で連続5期獲得により「永世王位」の資格を得る。11年2月、通算600勝（将棋栄誉賞）。13年3月、年間89対局、68勝の新記録。15年10月、第53期王座戦で、同一タイトル14連覇の新記録。19年3月、第56期王将戦で通算10期獲得により「永世王将」の資格を得る。19年12月、通算1000勝（特別将棋栄誉賞）。史上最速、最年少（37歳3カ月）。20年6月、第66期名人戦で通算5期獲得により「永世名人」（十九世名人）の資格を得る。22年6月、通算1100勝。24年2月、第61回NHK杯戦で優勝。4連覇で通算10回目の優勝を果たし、「名誉NHK杯選手権者」の称号を得る。24年7月、第83期棋聖戦で、通算タイトル獲得数81期の歴代単独1位に。24年8月、通算1200勝。24年8月、第20回銀河戦で5度目の優勝。24年5月、第72期名人戦で8期目の名人を獲得、3度目の復位は史上初。11月、史上4人目の通算1300勝。27年2月、第8回朝日杯戦で4度目の優勝。

タイトル戦登場は122回、獲得は竜王6、名人9、王位16、王座22、棋王13、王将12、棋聖13の合計91期。棋戦優勝は43回。竜王戦は1組（通算25期目、竜王含む）。順位戦は名人（A級以上連続23期目）。「将棋大賞」は、最優秀棋士賞20回。他に記録部門四冠独占4回など多数。

6年2月、「都民文化栄誉章」
8年3月、「内閣総理大臣顕彰」
18年11月、「八王子観光大使」
20年10月、「第56回菊池寛賞」
著書「羽生善治全局集」デビューから竜王獲得まで、「羽生善治全局集」名人獲得まで、「羽生のミラクル終盤術」「羽生マジック」変わりゆく現代将棋「上・下」「羽生の頭脳」「羽生の法則」シリーズ、「共鳴する頭脳」「羽生善治対談集」、「羽生善治の将棋入門」（日本将棋連盟）、「羽生善治闘う頭脳」（文藝春秋）、「羽生善治の将棋入門」（誠文堂新光社）、「もつと羽生流！初段プラスの詰将棋150題」（成美堂出版）、「決断力」（角川書店）、「捨てる力」（直感力）「才能とは続けられること」（PHP研究所）、「羽生善治の将棋の教科書」（河出書房新社）ほか
①172cm、62kg、AB型 ②玲瓏 ③美術 ④特になし ⑤歩く ⑥平穩無事 ⑦普段通りに指す ⑧横歩取り ⑨本心に解らない ⑩色々です ⑪担ぎません ⑫休みます ⑬デビュー戦でしようか

「棋士名鑑」の掲載順は次の通り。
《現役棋士》

- ①竜王・名人 ※棋士番号順
 - ②タイトル保持者
 - ③竜王・名誉称号有資格者
 - ④前竜王・前名人
 - ⑤段位順
- ※日本将棋連盟ホームページの棋士紹介に準じています。



260 竜王 糸谷 哲郎

昭和63年10月5日、広島県の生まれ。平成10年9月、6級で森信雄七段門。15年2月初段、18年4月四段。20年5月五段、24年1月六段、26年9月七段。12月八段。

18年10月、第37期新人王戦で棋戦初優勝（奨励会から）。21年9月、通算100勝。23年3月、第60回NHK杯戦で2期連続の準優勝。26年3月、第72期順位戦でB級2組昇級。5月、第27期竜王戦3組で優勝して2組昇級。本戦トーナメントを勝ち進み、挑戦者決定戦で羽生善治名人を破りタイトル戦初挑戦。12月、第27期竜王戦で初タイトル獲得。

タイトル戦登場は1回。獲得は竜王1期。棋戦優勝は1回。

竜王戦は竜王（1組以上は1期目）。順位戦はB級2組（連続2期目）。

「将棋大賞」は優秀棋士賞、新人賞、連勝賞。

著書「現代将棋の思想―一手損角換わり編―」（マイナビ）

②不屈 ③その孤島の名は、虚 ④ロック・パルク ⑤音楽・美術・図工 ⑥新棋戦 ⑧タイトル奪取 ⑨ストレス解消 ⑩防衛、挑戦 ⑪気持ちで負けない ⑫四間飛車 ⑬数えていません ⑭文章書き ⑮升田先生「手眼」 ⑯余

り担ぎません ⑰奨学金の配布 ⑱寝ます
奨励会一次試験最終局 ⑳Twitter @kansai shogi



235 棋王 渡辺 明

昭和59年4月23日、東京都葛飾区の生まれ。平成6年、第19回小学生名人戦優勝。同年9月、6級で所司和晴七段門。9年10月初段、12年4月四段、史上4人目の中学生棋士に。15年4月五段、16年10月六段、17年10月七段、同年11月八段、同年同月九段。

15年10月、第51期王座戦でタイトル初挑戦。16年12月、第17期竜王戦で初タイトル獲得。20歳8カ月での獲得は、屋敷、羽生に次いで歴代3位の年少記録。17年9月、第13期銀河戦で棋戦初優勝。17年10月、第36期新人王戦優勝。17年11月、第18期竜王戦で2期獲得により九段昇段。史上最年少（21歳7カ月）、史上最速（四段昇段後5年7カ月）。19年9月、第15期銀河戦優勝。20年8月、第2回大和証券杯ネット将棋・最強戦優勝。20年12月、第21期竜王戦で将棋史上初の3連敗後4連勝で防衛し、5期連続獲得により初代「永世竜王」の資格を得る。21年7月、通算30勝。22年3月、第68期順位戦B級1組で1位となりA級へ昇

級。23年8月、第19期銀河戦優勝。23年9月、第59期王座戦でタイトルを獲得し自身初の二冠に。24年11月、第25期竜王戦で防衛し9連覇。25年2月、第6回朝日杯将棋オープン戦優勝。25年2月、第62回NHK杯戦優勝。25年3月、第62期王将戦、第38期棋王戦でタイトル獲得し、自身初の三冠となる。26年8月、第22期銀河戦で4度目の優勝。11月、第35回日本シリーズ優勝。タイトル戦登場は22回、獲得は竜王9期、王座1期、棋王3期、王将2期の合計15期。棋戦優勝は9回。

竜王戦は2組（1組は通算10期、竜王含む）。順位戦はA級（連続6期目）。「将棋大賞」は最優秀棋士賞1回、優秀棋士賞4回、他に新人賞、名局賞、最多勝利賞など多数。

19年11月、「第19回将棋ペンクラブ大賞・話題賞」（渡辺明ブログ）。

著書「永世竜王への軌跡」（日本将棋連盟、「明日対局。」（マイナビ）、「渡辺明の思考 盤上盤外問答」（河出書房新社）、「勝負心」（文藝春秋）、「頭脳勝負 将棋の世界」（筑摩書房）、「四間飛車破り 居飛車穴熊編」（浅川書房） ほか

①166cm、58kg、O型 ②特になし ③俺物語（マンガ） ④図工とか ⑤一番は難しい ⑥体重調整 ⑦将棋関係者とフットサルを始めたのもう少し上手くなりたい ⑧今と変わらない ⑨月に50題くらい？ ⑩それは分らない ⑪自分の扇子を使っている ⑫担がない ⑬仕事は何もしないで趣味に没頭する ⑭家に帰ってサッカーを見ることが多い ⑮永世竜王になったときの将棋 ⑯ブログ <http://blog.goo.ne.jp/kristi-akira>



195 王将 郷田 真隆

昭和46年3月17日、東京都杉並区の生まれ。57年12月、6級で（故）大友昇九段門。60年5月初段、平成2年4月四段。4年10月五段、7年11月六段、10年4月七段、11年4月八段、13年8月九段。

4年5月、第60期棋聖戦でタイトル初挑戦。四段での挑戦は屋敷に次いで2人目。4年9月、第33期王位戦で初タイトル獲得。四段でのタイトル獲得は初。10年7月、第69期棋聖戦でタイトル獲得。11年3月、第57期順位戦でA級へ昇級。11年6月、第12期竜王戦2組優勝、1組へ昇級。13年8月、第72期棋聖戦でタイトル獲得。19年4月、第65期名人戦挑戦。同年10月、通算600勝（将棋栄誉賞）。21年4月、第67期名人戦挑戦。23年12月、通算700勝。23年3月、第37期棋王戦でタイトル獲得。26年2月、第63回NHK杯戦優勝。27年3月、第64期王将戦でタイトル獲得。

タイトル戦登場は16回、獲得は王位1、棋王1、王将1、棋聖2の合計5期。棋戦優勝は7回。

竜王戦は1組（連続16期目）。順位戦はA級（通算13期目）。

「将棋大賞」は殊勲賞4回、敢闘賞5回。他に新人賞、最多対局賞など多数。

著書「実戦の振り飛車破り」(日本将棋連盟)、「郷田真隆の指して楽しい横歩取り」(フローラル出版)



131 九段 谷川 浩司 (永世名人)

昭和37年4月6日、兵庫県神戸市の生まれ。48年、5級で若松政和七段門。50年初段、51年四段。54年以来毎年昇級昇段。57年4月八段、59年4月九段。

54年2月、第2回若獅子戦で棋戦初優勝。57年3月、第40期順位戦でA級へ昇級。58年6月、第41期名人戦でタイトル戦初挑戦でタイトル獲得。21歳の名人は史上最年少記録。59年2月、第2回全日本プロトーナメント優勝。62年12月、第1期竜王戦は1組として出場。63年6月、第46期名人戦で復位、三冠(名人・王位・棋王)に。平成2年11月、第3期竜王戦でタイトル獲得。3年12月、通算600勝(将棋栄誉賞)。4年1月、第59期棋聖戦でタイトル獲得。4年2月、第41期王将戦でタイトル獲得、史上4人目の四冠(竜王・棋聖・王位・王将)に。9年3月、通算800勝(将棋栄誉賞)。9年6月、第55期名人戦で通算5期獲得により「永世名人(十七世名人)」の資格を得る。13年4月、現役勤続25年。14年7月、通算1000勝(特別将棋栄誉賞)。19年

9月、第15回「達人戦」で4連覇。21年11月、第30回日本シリーズで優勝。23年3月、通算1200勝(史上4人目)。25年5月、第26期竜王戦3組優勝。

タイトル戦登場は57回。獲得は竜王4、名人5、王位6、王座1、棋王3、王将4、棋聖4の合計27期。現七タイトル全ての獲得経験があるのは、谷川と羽生のみ。他に棋戦優勝は22回。
竜王戦は1組(通算22期目、竜王含む)。順位戦はB級1組(A級は通算32期、名人含む)。

「将棋大賞」は最優秀棋士賞5回。他に特別賞3回、新人賞、升田幸三賞、名局賞など多数。詰将棋創作の分野で、9年度「看寿賞」特別賞。

12年から日本将棋連盟会長。
58年9月、「神戸市文化特別賞」
平成6年、「将棋ペンクラブ大賞(観戦記部門)」

9年6月、兵庫県「蒼」賞
9年6月、「神戸市文化栄誉賞」
17年6月、神戸大使に就任
18年10月、「神戸市文化賞」
19年11月、「兵庫県文化賞」
23年5月から日本将棋連盟専務理事。
24年12月25日から日本将棋連盟会長。
26年秋、「紫綬褒章」
著書「光速の寄せ」シリーズ「光速の詰将棋」(月下推敲 谷川浩司詰将棋作品集)「日本将棋連盟」、「勝運をつかむ」(共著・致知出版)、「怒涛の関西将棋」(集中力)「構想力」(角川書店)、「谷川浩司の本筋を見極める」(NHK出版) ほか
①177cm、63kg、O型 ②心想事成 ③体育、園工 ④病氣なく務められたこと ⑤できるだけ歩くようにする ⑥昨年より勝星を増やせるよ

うに ⑪持ち時間を使い切ること ⑫三間飛車 ⑬50題以上 ⑭自筆の「飛翔」 ⑮良いことだけ覚えておくようにしている ⑯とにかく寝て忘れる ⑰平成7年の王将戦第7局



182 九段 佐藤 康光 (永世棋聖)

昭和44年10月1日生まれ。京都府八幡市の出身。57年12月、6級で田中魁秀九段門。59年7月初段、62年3月四段。平成元年4月五段、4年3月六段、5年10月七段、8年4月八段、10年6月九段。

2年6月、第9回早指し新鋭戦で棋戦初優勝。2年7月、第31期王将戦でタイトル初挑戦。4年7月、第5期竜王戦2組2位となり1組へ昇級。5年12月、第6期竜王戦で初タイトル獲得。8年3月、第54期順位戦B級1組で1位となりA級へ昇級。10年6月、第56期名人戦でタイトル獲得。14年3月、第51期王将戦でタイトル獲得。14年8月、第73期棋聖戦でタイトル獲得。自身初の二冠に。15年7月、通算600勝(将棋栄誉賞)。15年9月、第11期銀河戦優勝。16年11月、第25回日本シリーズ優勝。18年7月、第77期棋聖戦で通算5期獲得により「永世棋聖」の資格を得る。18年度、第47期王位戦・第54期王座戦・第19期竜王戦・第56期王将戦・第32期棋王戦と、5棋戦連

続挑戦の新記録。19年3月、第32期棋王戦でタイトル獲得、2度目の二冠に。20年3月、第57回NHK杯戦で史上3人目の連覇。21年3月、通算800勝(将棋栄誉賞)。22年9月、第18回達人戦優勝。23年3月、第61期王将戦でタイトル獲得。24年8月、第6回大和証券杯ネット将棋・最強戦優勝。タイトル戦登場は37回、獲得は竜王1、名人2、棋王2、王将2、棋聖6の合計13期。棋戦優勝は11回。
竜王戦は1組(連続23期目、竜王含む)。順位戦はA級(通算19期目、名人含む)。

「将棋大賞」は最優秀棋士賞1回。他に新人賞、優秀棋士賞、升田幸三賞など多数。10年10月、「八幡市民有功者表彰」

著書「佐藤康光の矢倉」佐藤康光の石田流破り(日本将棋連盟)、「佐藤康光の実戦で使える困いの急所」(NHK出版)、「一人で学べる!小学生のための将棋入門」(日本文芸社) ほか

①168cm、67kg、O型 ②気概 ③「フランス人は10着しか服を持たない」④「賢く生きるより辛抱強いバカになれ」⑤クラシック ⑥理科 ⑦コーヒード ⑧谷川先生の紫綬褒章受章 ⑨朝食と睡眠 ⑩タイトル獲得、棋戦優勝 ⑪集中力を高める ⑫玉頭位取り ⑬全部で12000題くらい ⑭何でもうねー。想像つかない ⑮自虐 ⑯担当(秘密) ⑰将棋の研究 ⑱不貞寝 ⑲タイトル獲得、優勝の対局全て ⑳佐藤康光応援ホームページ

年4月四段。

竜王戦は6組（第29期から参加）。

順位戦はC級2組（1期目）。

①169cm、47kg、O型 ②勝って兜の緒を締めよ ③東野圭吾「マスカレード・イブ」 ④ボカロ全般 ⑤家庭

科 ⑥名人戦 ⑦チェス、ネットゲーム ⑧四段になったこと ⑨むしろ不健康な生活なので… ⑩勝ちまくる ⑪決断よく指す ⑫右玉 ⑬

連盟モバイルのを入れれば300くらい ⑭プログラマーを目指していた

⑮安恵先生の「道一筋」 ⑯担当がない ⑰豪遊している ⑱帰宅して悲しみに暮れる ⑲デビュー戦 ⑳特に

なし

300

四段

梶浦

宏孝

平成7年7月6日、東京都新宿区の生まれ。20年4月、6級で鈴木大介八段門。24年10月三段、27年4月四段。

竜王戦は6組（第29期から参加）。

順位戦はC級2組（1期目）。

①166cm、45kg、A型 ②「黄金のバ

ンタム」を破った男 ③「Golden

④睡眠 ⑤四間飛車 ⑥家に帰る

33

女流名人

里見

香奈

平成4年3月2日、島根県出雲市の生まれ。平成15年後期、女流育成会入会。16年10月女流プロ2級、森雞二九段門。18年4月1級、19年2月初段。20年9月二段、21年4月三段、22年2月四段、23年10月五段。

19年1月、第2回きしろ杯優勝。19年2月、第20回レイリスオープン準優勝。19年4月、第29期女流王将戦で挑戦者決定戦進出。19年9月、第15期倉敷藤花戦で挑戦者決定戦進出。20年11月、第16期倉敷藤花戦で初挑戦でタイトル獲得。16歳8カ月でのタイトル獲得は史上3番目の年少記録。22年2月、第36期女流名人位戦でタイトル奪取。22年10月、第32期女流王将戦でタイトル奪取。

23年5月、奨励会1級に合格し、編入を決める。24年5月、第23期女流王位戦でタイトル奪取。史上二人目となる女流四冠に。24年11月、第20期倉敷藤花戦で通算5期獲得により「クイーン倉敷藤花」の資格を得る。25年5月、第6期マイナビ女子オープンで女流初の五冠に。25年12月、女性としての初の奨励会三段昇段。26年2月、第40期女流名人位戦で通算5期獲得により「クイーン名人」の資格を得る。26年3月より半年間休場。復帰後の27年5月、第26期女流王位戦でタイトル奪取。

タイトル戦登場は22回。獲得は女王1、女流王座1、女流名人6、女流王位2、女流王将3、倉敷藤花5の合計18期。

「将棋大賞」は最優秀女流棋士賞5回、女流棋士賞2回、名局賞特別賞。

18年5月、「第15回関西囲碁・将棋クラブ賞」。19年3月、「島根県文化活動特別奨励賞」。22年3月、「島根県功労者表彰」。

著書「イナズマ流次の一歩200題」（共著、日東書院）、「女流名人・倉敷藤花里見香奈」（双葉社）

①162・5cm、A型 ③永遠の0 ④

⑤食事 ⑥対局できることに感謝する ⑦最後まで盤上に集中すること

40

女流王将

香川

愛生

平成5年4月16日、東京都柏江市の生まれ。17年、第37回女流アマ名人戦優勝。18年、第38回女流アマ名人戦優勝。第27回中学生選抜選手権女子の部優勝。平成19年4月、女流育成会入会。20年10月女流プロ2級、中村修九段門。平成21年7月、女流1級。23年4月12月、休場。24年11月初段、25年8月二段、25年10月三段。

25年10月、第35期女流王将戦でタイトル戦初登場、初タイトル獲得。26年11月、第41期女流名人位戦で挑戦者決定戦進出。

タイトル戦登場は2回。獲得は女流王将2期。

「将棋大賞」は女流最多対局賞、女流棋士賞。

①157cm、B型 ②執念 ③映画「想いのこし」 ④クラシック、ゲーム音楽 ⑤家庭科（今でも…） ⑥動画共有・配信サービスとの関わり ⑦着

物 ⑧健康の大切さに気付けたこと ⑨緑黄色野菜 ⑩自分のやりたいことをやる ⑪妥協しないこと ⑫

四間飛車 ⑬ファンの方からの頂き物。桜柄の扇子 ⑭将棋ゲーム・アプリ制作 ⑮詰将棋 ⑯アマ10級のとき、現在の師匠との6枚落ち ⑰



40 女流王将 香川 愛生



21 倉敷藤花 甲斐 智美

昭和58年5月30日、石川県七

市の生まれ。中原誠十六世名人

門。平成9年4月女流プロ2級。

10年4月1級。10年9月、奨励会

入会により女流棋界を休会。15

年8月奨励会退会。15年9月、女

流初段で復帰。18年9月二段、22

年4月三段、23年6月四段。

18年、第11回鹿島杯で棋戦初優

勝。19年、第1期マイナビ女子オ

ープンでタイトル戦初登場。19

年、第1回大和証券杯ネット将

棋・女流最強戦優勝。20年2月、

通算100勝。22年4月、第3期マイ

ナビ女子オープンで初タイトル

獲得。22年6月、第21期女流王

位戦でタイトルを獲得し二冠に。第

22期女流王位戦でタイトル初防

衛。25年6月、第24期女流王位

戦でタイトル獲得。25年11月、第

21期倉敷藤花戦でタイトル獲得し

2度目の二冠に。

タイトル戦登場は11回。獲得は

女王1、女流王位4、倉敷藤花2

の合計7期。棋戦優勝は2回。

「将棋大賞」は最優秀女流棋士

賞、女流棋士賞2回。
①155cm、A型 ③ナメ読みばかりですが、ディケンズ「荒涼館」④デイズニーのテーマ曲やパッヘルベル「カノン」⑤理科 社会 ⑥王将戦七番勝負は大熱戦を印象に残っています ⑦平常心を保つこと ⑧居飛車舟囲い ⑨「駒に聴き、盤に遊ぶ」中原誠 ⑩じりじりして



7 六段 清水 しみず いちよ 市代

クイーン名人
クイーン王将
クイーン倉敷藤花

昭和44年1月9日、東京都東村山市の生まれ。58年の第15回女流アマ名人戦で優勝。同年(故)高柳敏夫名誉九段門で女流育成会入会。60年女流プロ2級、61年初段、62年二段、63年三段、平成4年四段、7年4月五段、12年10月六段(女流棋士初)。
63年2月、第14期女流名人位戦で初挑戦でタイトル獲得。7年1月、第21期女流名人位戦でタイトル奪取。女流初の三冠に。8年7月、第18期女流王将戦でタイトル奪取。女流初の四冠王。9年2月、第23期女流名人位戦で通算5期獲得により「クイーン名人」の資

格を得る。10年10月、第9期女流王位戦で通算5期獲得により「クイーン王位」の資格を得る(同時に、再び女流四冠に)。10年11月、第6期倉敷藤花戦で通算5期獲得により「クイーン倉敷藤花」の資格を得る。12年6月、第22期女流王将戦で通算5期獲得により「クイーン王将」の資格を得る。

19年4月、通算400勝。21年、現役勤続25年。21年2月、第35期女流名人位戦でタイトル獲得。21年11月、第20期女流王位戦でタイトル獲得。23年9月通算500勝。24年3月、大和証券杯女流最強戦で優勝。26年9月、第36期女流王将戦挑戦。12月、第41期女流名人位戦挑戦。

タイトル戦登場は69回。獲得は女流名人10、女流王将9、女流王位14、倉敷藤花10の合計43期。他に棋戦優勝11回。いずれも歴代1位。
「将棋大賞」は最優秀女流棋士賞5回、女流棋士賞11回、特別賞女流最多対局賞3回。

8年7月、「文部大臣表彰」。9年2月、「平成8年都民文化栄誉章」。12年11月、「東村山市民栄誉賞」。20年8月、「倉敷市将棋文化栄誉賞」。

著書「天辺」「清水市代の囲いのエッセンス」(マイナビ)、「清水市代の将棋トレーニング」(NHK出版)
①5尺2寸9分 ②上善如水 ③「本」「EPTA(エプタ)」「映」「ふしぎな岬の物語」④クラシック

⑤音楽 ⑦折紙 ⑧堅忍不拔 ⑨頭寒足熱 ⑩光風霽月 ⑪温故知新 ⑫「子供の頃」は、まだ将棋を知らず... ⑬数学の教師or日本史の研究者 ⑭書家の友人が揮毫してくれた「楽」 ⑮池波正太郎、ワイルドに浸りまったり ⑯三社連合主催「王位対女流王位 記念対局」



9 五段 斎田 さいだ はるこ 晴子

昭和41年12月4日、神奈川県横須賀市の生まれ。59年、第20回高校選手権女子個人戦、第11回女流アマ最強戦で優勝。60年、佐伯昌優九段門で女流育成会入会。61年4月女流プロ3級、62年4月1級、63年4月初段、平成3年3月二段、7年4月三段、13年2月四段、23年6月五段。

平成3年3月、第13期女流王将戦でタイトル戦初挑戦。6年5月、第16期女流王将戦で初タイトル獲得。8年7月、第4期銀河戦で男性プロを連破し決勝トーナメント出場を果たす(非公公式棋戦)。9年6月、第19期女流王将戦でタイトル奪取。清水の四冠独占を崩す。13年2月、第27期女流名人位戦でタイトル奪取。13年11月、第15回レディースオープン優勝

勝。14年6月、通算300勝。16年12月、第18回レディースオープン優勝。18年11月、第14期倉敷藤花戦でタイトル奪取。21年6月通算400勝。22年、現役勤続25年。
タイトル戦登場は12回。獲得は女流名人1、女流王将2、倉敷藤花1の合計4期。他に棋戦優勝2回。

「将棋大賞」は女流棋士賞。

①159cm、秘密、B型 ②知彼知己百戦不殆 ③シンデレラ ④宇多田ヒカルさんと倉木麻衣さんのCD ⑤球技、水泳、長距離走 ⑥女流棋士会役員選挙(選挙管理委員です) ⑦コナツツ ⑧復活の足がかりを見つけた気がすること ⑨テレビの健康番組をよく見て体に良いとす

すめらることを実行する ⑩15kgダイエット ⑪落ち着いて指すこと。手拍子で指さないこと ⑫ありません。道場に通うようになってからは四間飛車 ⑬これからたくさん解く予定です ⑭すぐ感情移入するので最近向いていたのではと思うのは女優さんです ⑮清水さんと矢内さんと私の3人で書かせていただいた桃源郷という文字の扇子です(かつて)。今は女流棋士発足40周年記念扇子です ⑯対局前日につめを切らない。対局日に勝ったことのない道は絶対に通らない ⑰若返りの夢もある。STAP細胞を本当に作りたい ⑱おとなしく家に帰り、録りだめていたお気に入りの録画を見る ⑲2001年2月27日。第27期女流名人位戦五番勝負第五局で中井広恵女流名人に勝ち女流名人になった

た1局



16 五段 やうちりえこ 矢内理絵子

昭和55年1月10日、埼玉県行田市の生まれ。平成2年、関根茂九段門で女流育成会入会。5年4月女流プロ2級。同年8月、6級で奨励会入会。7年初段、9年4月二段、10年4月三段、16年8月四段、26年2月五段。

7年7月、第6期女流王位戦でタイトル初挑戦。9年10月、第8期女流王位戦で初タイトル獲得。10年11月、第12回レディースオープン優勝。18年2月、第32期女流名人位戦でタイトル獲得。20年5月、第1期マイナビ女子オープンで初代女王に(女流名人との二冠)。21年7月、第2期マイナビ女子オープン連覇。

タイトル戦登場は18回。獲得は女王2、女流名人3、女流王位1の合計6期。他に棋戦優勝2回。「将棋大賞」は最優秀女流棋士賞2回、女流棋士賞1回。
19年2月、第2回「さいたま輝き荻野吟子賞」。20年7月、行田市「観光大使」(第1号)。
著書「矢内理絵子の振り飛車破り」(マイナビ)、「女脳ひらめき

平成27年版
将棋年鑑
2015



名人・王位・王座・棋聖

羽生善治



竜王

糸谷哲郎



棋王

渡辺明



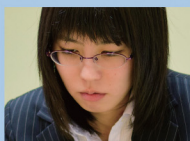
王将

郷田真隆



女王・女流王座

加藤桃子



女流名人・女流王位

里見香奈



女流王将

香川愛生



倉敷藤花

甲斐智美